

梢水五十七名

右の執照は存留の鄭宗善・蔡国器等に付し、此れに准ぜしむ

順治十年（一六五三）二月二十七日給す

都通事一員 田時盛^①

使者二員 馬知記^② 林榮

通事一員 阮起鳳^③

管船火長・直庫二名 陳結華^④ 游那

順治十一年（一六五四）四月初一日

1-34-03

世子尚質の、招撫使の帰朝を護送するために遣わす都通事毛

世顯の名簿（一六五三、三、〇）

琉球国中山王世子尚（質）、天使謝必振の回朝を護送する事の為にす。

差遣する官員の姓名は後に開す。

都通事一員 毛世顯

順治十年（一六五三）三月 日

注*この船は福建に入港できずに帰国した。（二一〇六）および後注

(2) (3) (4) 参照。

(1) 田時盛 生没年不詳。同行した人の家譜には安次峯通事親雲

上（注（2））、安次嶺通事親雲上（注（3））、安室通事親雲

上（注（4））とある。

(2) 馬知記 不詳。長浜親雲上宗重（一六一三—一八二二）か。唐

名梅有養（那覇梅氏〈長浜家〉三世）、童名は真密津喜。順治

十一年に才府として田時盛らと共に福建に赴き「於梅花口逢

漁船、聞海賊周氏連兵船五十艘、侵入閩安鎮作乱、故不得通

内湊、從漁船取承証拠之墨、從外山五月中旬帰国」（家譜（四）

四〇八頁）した。馬知記は真密津喜の異字表記の可能性があ

る。

(3) 阮起鳳 久米村阮氏（罕宮城家）三世に阮起鳳（一六二八—九

五年）があり、その家譜に「順治十一年甲午四月初一日、為

接回慶賀事、奉使為存留通事、同都通事田時盛安次嶺通事親

雲上赴閩、其時海賊侵閩港口、不能通内港、故從閩安鎮□梅

花回棹、次年乙未再赴閩到外山東湧、其時海賊刃乱未息、不

能進入閩省、自東湧回棹」（家譜（二）一五六頁）とあり、

同一人と思われる。

1-34-04

世子尚質の、慶賀使を接回するために遣わす都通事田時盛等の名簿（一六五四、四、一）

琉球国中山王世子尚（質）、接回、慶賀の事の為にす。

差遣する官員の姓名は後に開す。